

持ち時間は2週間！2週間でエンジニアとNPOが  
コラボして鳥取の街を技術で変えていきます！

# TWO WEEKS VOLUNTECH ACTION

～二週間でエンジニアと未来を創ろう～

2/21 SUN  
10:00-

WORKSHOP DAY  
- ワークショップ・デー -

地域課題の掘り下げ、解決に必要なアイディア  
を出し、プロトタイプ制作までを行います。

3/5 SAT  
13:00-

PRESENTATION DAY  
- プレゼンテーション・デー -

チームで発表を行います。

## 【学内のお問合わせ先】

総合メディア基盤センター  
東野 正幸

Email: [higashino@tottori-u.ac.jp](mailto:higashino@tottori-u.ac.jp)  
内線: 4065 / 外線: 0857-31-6100

参加費：無料 参加定員：50名

参加対象：大学生、エンジニア、行政職員、NPO関係者、  
福祉・医療・まちづくりに興味がある方、など

～特別な知識は必要ありません～

## KEYWORD - キーワード -



福祉、医療、介護、地域振興、など

テーマ例：中山間地域の生活支援、  
健康寿命の引き上げ、障がい者の生活環境改善  
※ キーワードをもとにして、各チームで独自の  
テーマを設定していただいても構いません。

## 【会場】

cafe SOURCE BANQUET  
(カフェソース バンケット)

〒680-0831

鳥取県鳥取市栄町 401-3F

<http://banquet.cafe-source.com/>

## 【運営組織】

主催：鳥取県、日本財団、

Code for Tottori

共催：首都大学東京（渡邊研究室）

鳥取大学 総合メディア基盤センター

鳥取大学 地（知）の拠点大学による

地方創生推進室

## 【申込先】

下記 URL よりお申込ください。

<http://code4tottori.org/>

## 【お問合せ先】

鳥取県総務部情報政策課地域情報化担当

TEL: 0857-26-7849

FAX: 0857-26-8289

E-mail: [jouhou@pref.tottori.jp](mailto:jouhou@pref.tottori.jp)



## PROGRAM - プログラム -

### ワークショップ・デイ 2016 年 2 月 21 日 (日) 10:00-17:00

09:30-10:00 開場及び受付

10:00-10:10 開始&主催者挨拶

10:10-11:00 キーノートスピーチ (杉浦 裕樹 氏)

11:00-11:50 事例紹介

11:50-13:00 昼食休憩

13:00-17:00 ワークショップ (ファシリテーター : 原田 博一 氏)

### プレゼンテーション・デイ 2016 年 3 月 5 日 (土) 13:00-17:00

10:00-13:00 開場及び受付 (作業したいチームはご自由にお使い頂けます。)

13:00-13:30 開始&主催者挨拶

13:30-16:20 成果報告会 (各チームの持ち時間は 10 分 + 質疑応答 10 分)

16:30-17:00 全体講評 (羽鳥 達也 氏)

## GUEST - ゲスト -

### キーノートスピーチ

杉浦 裕樹 氏

(NPO 法人横浜コミュニティ  
デザイン・ラボ 代表)

横浜地域の課題をウェブ上に集約・公開し、地域課題の解決を市民レベルで行っていくことを目指した、ウェブとリアルを組み合わせた仕組み「LOCAL GOOD YOKOHAMA」の仕掛け人。

### ファシリテーター

原田 博一 氏

(株式会社富士通研究所  
クリエイティブ・メディエーター)

機械工学、ソフトウェアエンジニア、定性調査研究員を経て、現在、コミュニケーションの観点からクリエイティブを支え社会変化を促すクリエイティブ・メディエーターとして活動。認知症、公民連携など、社会的課題の解決を対象としたエコシステム「.org アライアンス」プロジェクトを展開中。

### 講評

羽鳥 達也 氏

(株式会社日建設計 設計部主管)

「逃げ地図」にて、グッドデザイン賞ベスト100、Code for Resilience 最優秀賞受賞

### テクニカルサポート

渡邊 英徳 氏

(首都大学東京 准教授)

京都大学・地域情報統合情報センター客員准教授、佐賀大学医学部客員研究員などを歴任。2016 年よりハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員を兼任予定。

### テクニカルサポート

渡邊英徳研究室

(首都大学東京)

「ヒロシマ・アーカイブ」「ナガサキ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」などのデジタルアーカイブを地域の人々と協働しながら制作に携わっている首都大学東京渡邊研究室の学生がみなさんをサポートします。